

平成26年度

事務事業評価表 A (平成25年度の実績評価)

記入年月日
平成 26 年 4 月 10 日

事務事業名		こども伝統文化教室			区分		事務事業No.	30213218		
					<input type="checkbox"/>	分野別主要事業	課内No.	18		
		政策体系上の位置付け			<input type="checkbox"/>	未来プロジェクト事業	主管課			
政策体系	総合計画の施策名	302	生涯学習・芸術文化活動の推進			<input type="checkbox"/>	市長マニフェスト事業	所属部	教育委員会	
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり			<input type="checkbox"/>	合併建設計画事業	所属課	生涯学習課 32	
	施策名	2	生涯学習・芸術文化活動の推進			<input type="checkbox"/>	新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	課長名	井坂 徹	
	基本事業名	1	生涯学習及び芸術文化活動機会の充実			<input checked="" type="checkbox"/>	単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業	グループ	伝承館グループ	
		財務会計上の位置付け			事業期間		担当者名	杉山 明子		
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
	1	10	5	3	1	文化振興事業		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し (平成18年度～)		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度～年度)				

[Do] 1. 事務事業の現状把握(その1) ➡ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

(1) 事務事業の概要・手段・目的・結果と各指標	
手段	① 事務事業の概要(事務事業の内容) ○市内で行われている伝統文化を次世代に保存継承するために、下記の団体に助成金を交付。 ① こども将棋教室 10回 18人 市民文化祭将棋大会に参加 ② いけばなこども教室 10回 24人 市民祭inまかべに出品 ③ こども茶道教室 11回 17人 市民祭inまかべに茶会開催 ④ やまとなでしこ茶道教室 10回 10人 市民文化祭茶会に参加 ⑤ 詩吟こども教室 12回 18人 市民文化祭芸能祭に出演 ⑥ 加波山囃子こども教室 18回 21人 祇園祭で披露 ⑦ 西小塙けら踊りこども教室 10回 27人 夏祭りに参加 ⑧ 青木大杉ばやしこども教室 7回 21人 夏祭り披露
	② 担当者が行う業務の内容、実際に行った主な活動 ・こども伝統文化教室開催団体を募集する ・採択団体を決定後、補助金交付申請・決定通知提出依頼 ・子ども教室募集案内作製、実施申請の取りまとめ後(案内を市内小中学校配布) ・実績報告の提出依頼 ・市補助金交付(各団体) ・依頼により修了証書の作成 ・補助金交付要綱の作成が必要である。
目的	③ 対象(誰、何を対象にしているのか) 文化協会・伝統民俗連絡協議会団体、小学生、中学生
	⑦ 対象指標(対象の大きさを表す指標) ア 文化協会所属の伝統文化団体の参加数 イ 伝統文化教室実施数
	④ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 伝統文化の保存継承。人材育成および文化団体の保存意識の向上。
	⑧ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) ア 教室に参加する児童生徒数
結果	⑤ 結果(どんな結果に結び付けるのか) 伝統文化の認識を深める。伝統文化団体の維持および後継者の増加。
	⑨ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) ア 地域の伝統行事や文化財に親しみを感じている市民の割合

(2) 指標値の推移									
区分	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	期間限定 総投入量
⑥活動指標	ア 団体	8	9	8	8	8	8	8	
	イ								
	ウ								
⑦対象指標	ア 団体	29	29	29	29	29	29	29	
	イ 団体	7	9	8	8	8	8	8	
	ウ								
⑧成果指標	ア 人	75	168	156	160	160	160	160	
	イ								
	ウ								
⑨上位成果指標	ア %	55.5	51.2	50.8	60.0	60.0	60.0	60.0	

(3) 投入量(事業費)の推移		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	財源内訳	千円						
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	使用料・手数料	千円						
	その他	千円						
人件費	一般財源	千円	180	180	160	160	160	160
	事業費計(A)	千円	180	180	160	160	160	160
	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
入量	述べ業務時間	時間	88	83	120	120	120	120
	人件費計(B)	千円	268	243	352	352	352	352
	トータルコスト(A)+(B)	千円	448	423	512	512	512	512
事業費の内訳	25年度事業費 実績(千円)	26年度事業費 予算(千円)	27年度事業費 計画(千円)	28年度事業費 計画(千円)	29年度事業費 計画(千円)			
	補助金	160	補助金	160	補助金	160	補助金	160
	合計	160	合計	160	合計	160	合計	160

(4) 当該年度の実施内容		26年度の事業内容	27年度の事業内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容
※ 下記に該当する事業は年度ごとの事業内容を記入する					
分野別主要事業 未来プロジェクト事業 市長マニフェスト事業 合併建設計画事業					

事務事業名	こども伝統文化教室	事務事業No.	30213218	所属課	生涯学習課
-------	-----------	---------	----------	-----	-------

[Do] 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
文化庁の伝統文化こども教室の補助金が終了した団体を対象に平成22年より開始。桜川市としてこども伝統文化教室助成金募集を案内。指導者からの開催依頼もあり意欲がみられ、参加者も増加した。祖父母、保護者からの期待もみられる。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
伝統文化の後継者育成事業は単年度で出来るものではない。そのため事務関係者からは、継続した申請が行われており、継続参加している小学生も多い。事業関係者も内部講師が行うことで、後継者育成への意欲も大きい。

[See] 2. 評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 生涯学習機会の充実、市民文化活動の促進、青少年の健全育成に整合する。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？)(法定受託事業はその名称) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市の伝統文化の向上、振興のために、後継者育成事業の活動経費として妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 伝統文化の分野を広げたことにより、より多くの伝統文化が対象となり、参加団体も増えた。
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない こども教室への参加者が年々低学年になってきている。小学生を取り巻く状況が変わってきており、部活動、スポーツ少年団などにより参加者が少ないため、土曜日などに子育て支援などと提携して開催することも考慮すべきである。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 文化協会の人材育成意欲の低下、伝統文化の停滞。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 他に手段が無い 子育て支援や放課後こども教室、子ども会活動などと連携ができる。 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 内部講師の講師料は対象外としたため、事業費は必要経費のみとなり、最小限の事業である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 各教室で行っている事業であるため、担当は事務処理のみの支援となる。
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 材料費、講師謝礼の一部負担は受益者に負担させることはやむを得ない。

[Plan] 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	参加こどもは低学年が多く、親子で参加する姿も見られる。参加費も実費のみで、伝統文化に触れることができ、継続受講しているこどもが多い。教室実施の効果がみられるが、今後補助金の減額により参加者の負担が多くなると、参加の減少化もある。また、いけばな、茶道ばかりでなく詩吟、将棋など部門を広げ、日本文化の豊かさを体験できる機会が多くなった。 ・効率性、有効性について、より多くの参加者が得られるよう、土曜や日曜ばかりでなく、放課後など学校教育との連携も考えられる。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持																					
(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																						
(3)-1 改革改善策	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
子どもを対象とした、講座を担当する係との連携をはかる。																						

[Check] 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>